

平成 30 年 郡上市観光入込統計調査結果（概要）

1. 調査について

調査期間 平成 30 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間

調査対象 ・観光地点の定義（82 地点）

市内の年間観光客が 1 万人以上又は季節的観光客が月間 5 千人以上の観光施設・地点、または、行・祭事、イベント。

その他、市が独自で調査する地点。

・宿泊施設の定義（H30.12 時点営業施設 152 件）

市内の宿泊施設で、管理者が明確で常駐しており、宿泊に必要なサービスを営利目的で提供する、観光客を宿泊させるための施設。

ただし、個人所有の別荘、リゾートマンション、ホームステイ先の個人住居（民泊）、同伴ホテル・旅館、カプセルホテル等は除外。

2. 結果の概要

- ・宿泊客数は、約 45 万人泊で前年より約 2 万 4 千人泊（5.0%）の増加
- ・外国人宿泊客数は、約 2 万 2 千人泊で約 1 千 3 百人泊（6.0%）の増加
- ・観光入込客数は、約 551 万人で前年より約 17 万人（△3.1%）の減少

本市の平成 30 年の観光入込客数については減少し、宿泊客数と外国人宿泊客数については増加した。

外国人宿泊客数は、国内全体の傾向と同様に増加しており、平成 30 年は前年比 6%増の 22,991 人泊となった。東アジアからの宿泊客数は約 5.1%増に留まったものの、欧米からの宿泊者数は約 33%増となった。東南アジアからの宿泊客数は若干下がっており、誘客に力を入れてきたタイからの宿泊客数が約 1,000 人減となっているが、宿泊者数 5,373 人は国別では一番となっている。

観光入込客数について、6 月に清流長良川あゆパークがオープンしたことにより約 15 万人が純増、にも関わらず全体で 3%の入込客数の減少となっているのは、夏から秋にかけての豪雨や酷暑、台風による影響が考えられる、市全体でみると豪雨のあった 7 月は昨年対比 79.8%であり、大きく落ち込んでいる。宿泊客数についても 7 月は豪雨災害の影響もあり、市全体で約 3,000 人の宿泊のキャンセルがあった。豪雨の影響に伴い市内全体の釣りにおける入込客数も昨年対比 66.6%と大きく落ち込んでいる。また 12 月も昨年対比 89.5%であり、原因としては雪の降り始めが平成 29 年に比べて遅く、スキー場のオープンが遅れた事が考えられる。

なお、清流長良川あゆパークのオープンに併せてリニューアルオープンした道の駅白山文化の里長滝が昨年対比 133%である。

あゆパークのオープンがあったにもかかわらず入込客数が減少しているので、新規客やリピーターを取り込むために効果的な情報発信を行い、新たな観光コンテンツや魅力を紹介していく必要があると考えられる。

3. 宿泊客数について

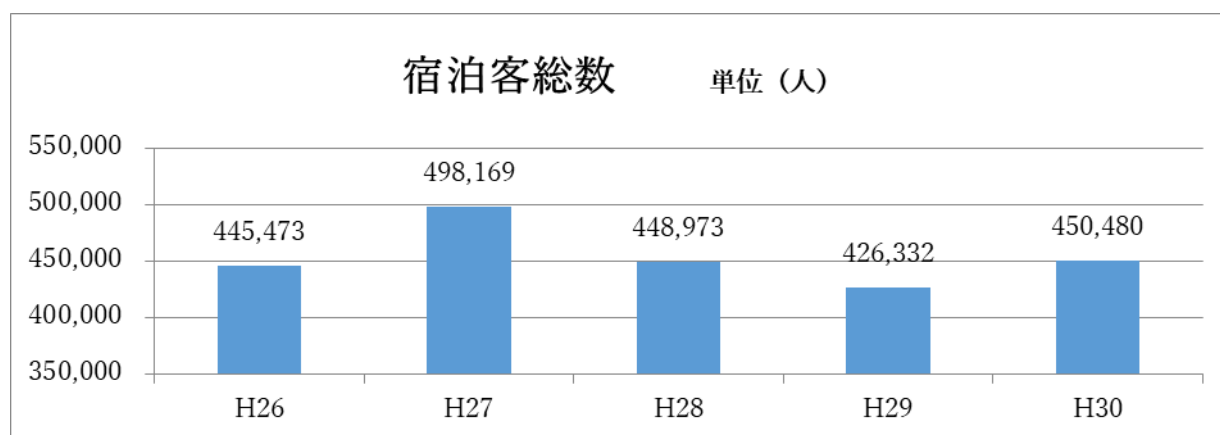
(1) 過去 5 年の推移

宿泊客数は 450,480 人泊で、前年に比べて 24,148 人泊（5.7%）増加している。過去 5 年で見ると平成 27 年に次ぐ数値となっている。

単位(人泊)

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
宿泊客総数	445,473	498,169	448,973	426,332	450,480
対前年比	114.3%	111.8%	90.1%	95.0%	105.7%

※ 平成 27 年はふるさと旅行券などの影響で全国的に増加



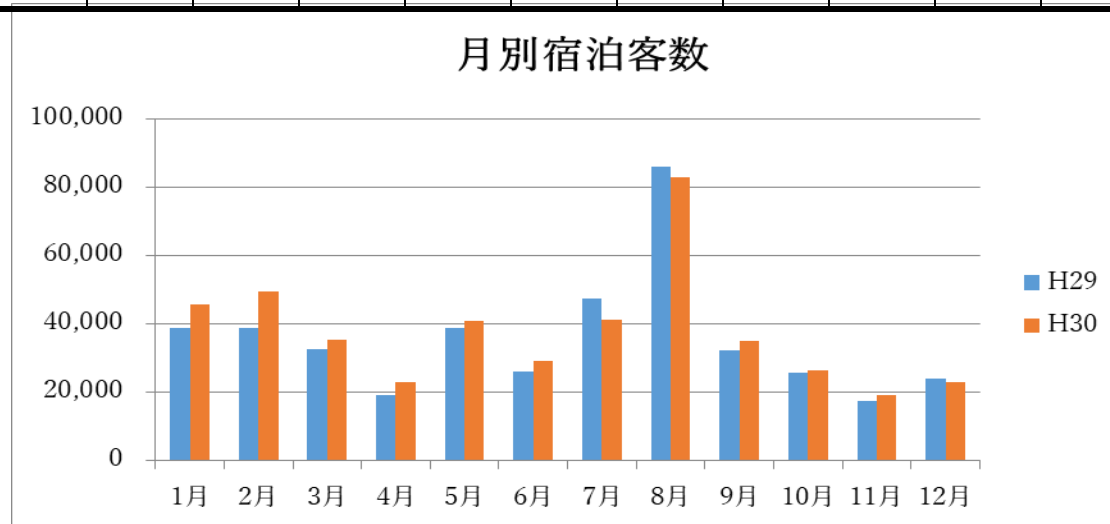
(2) 月別の宿泊状況

月別の宿泊客数の傾向は前年度と変わらず、8 月、7 月、5 月の順で多く、11 月、12 月、4 月の順で少なかった。

7 月は豪雨災害の影響もあり、市全体で約 3,000 人の宿泊のキャンセルがあった。

単位(人泊)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
H29	38,700	38,660	32,363	19,114	38,868	25,868	47,326	86,114	32,056	25,747	17,482	24,034
H30	45,724	49,582	35,140	22,973	40,849	29,009	41,052	82,959	34,984	26,182	19,189	22,837



(3) 地域別の宿泊状況

地域別の宿泊客数は、高鷺町 202,910 人泊（構成比 54.9%）、八幡町 90,550 人泊（構成比 24.5%）、白鳥町 34,874 人泊（構成比 9.4%）、明宝 25,959 人泊（構成比 7.0%）、大和町 5,566 人泊（構成比 1.5%）、和良町 5,279 人泊（構成比 1.4%）、美並町 4,730 人泊（構成比 1.3%）となった。

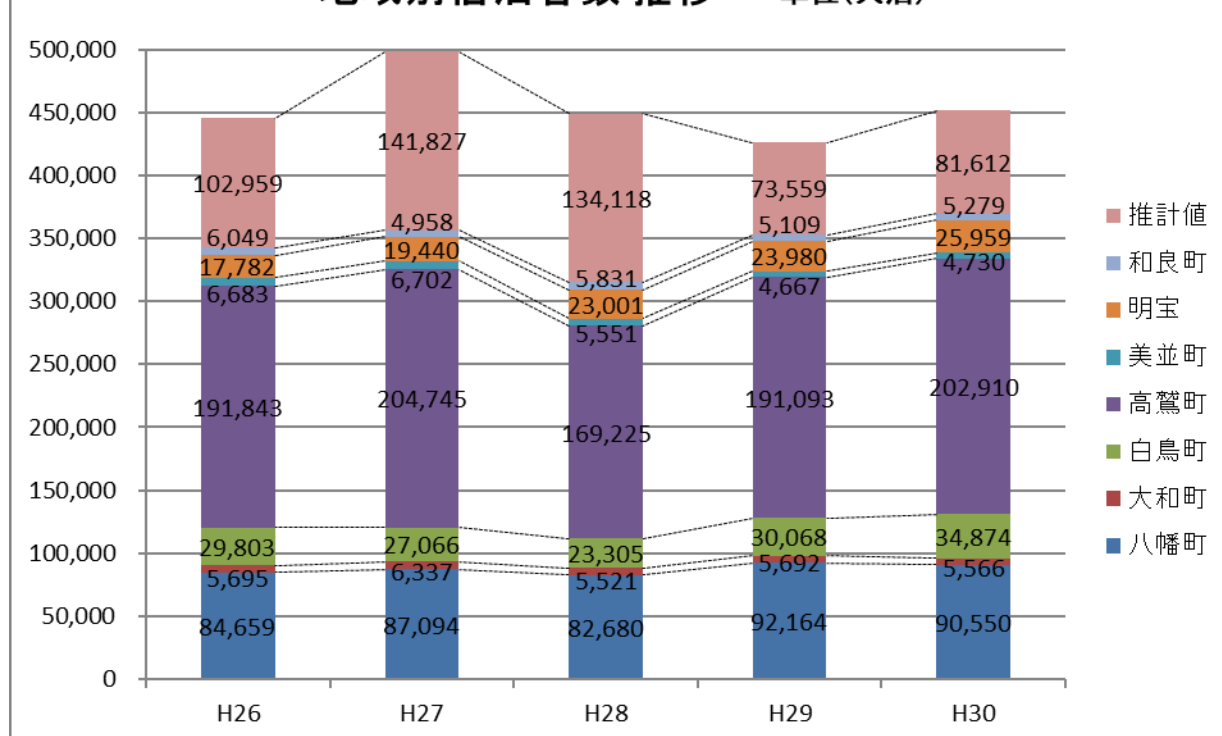
前年比では、高鷺町で 6.0%、白鳥町で 16.0%、明宝で 8%増加した。八幡町は 1.8%減少した。

※ 各地域の数値及び推計値は、施設の回答率により年毎に変動することがある。

単位(人泊)

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	対前年比
八幡町	84,659	87,094	82,680	92,164	90,550	98.2%
大和町	5,695	6,337	5,521	5,692	5,566	97.8%
白鳥町	29,803	27,066	23,305	30,068	34,874	116.0%
高鷺町	191,843	204,745	169,225	191,093	202,910	106.2%
美並町	6,683	6,702	5,551	4,667	4,730	101.3%
明 宝	17,782	19,440	23,001	23,980	25,959	108.3%
和良町	6,049	4,958	5,831	5,109	5,279	103.3%
推計値	102,959	141,827	134,118	73,559	81,612	110.9%
市 計	445,473	498,169	449,232	426,332	450,480	105.7%

地域別宿泊客数 推移 単位(人泊)



(4) 外国人宿泊客数について

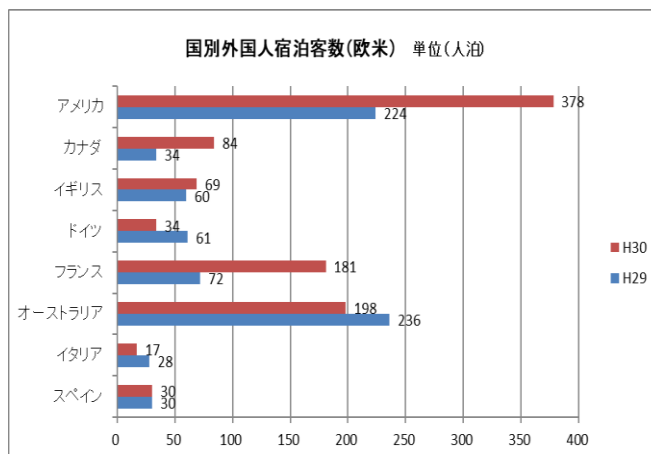
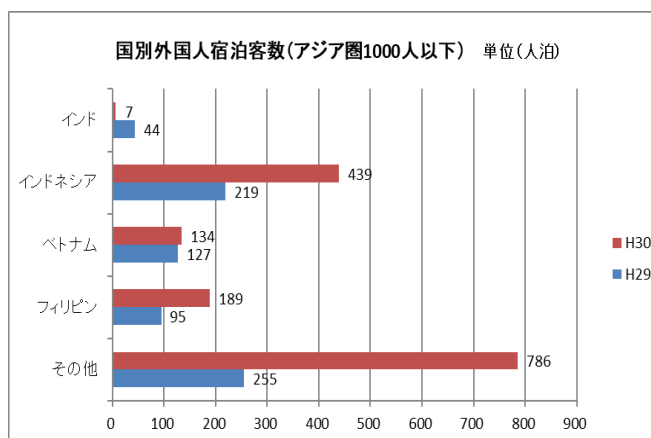
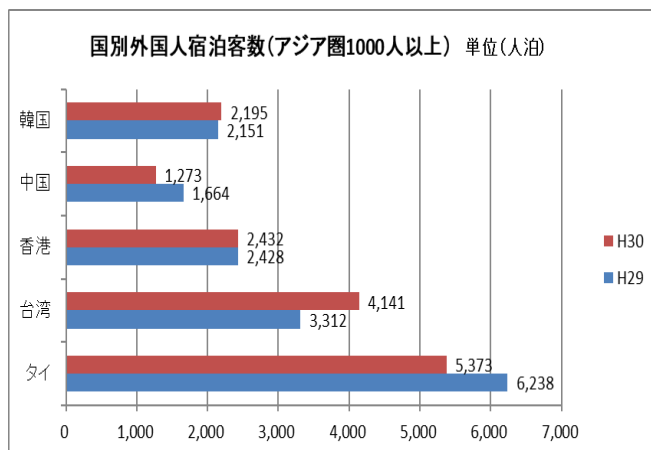
外国人宿泊客数は、前年の 21,685 人泊から 1,306 人泊（6.0%）増加し、22,991 人泊となった。

国別ではタイ（5,373 人泊）が最も多く、次いで台湾（4,141 人泊）、香港（2,432 人泊）となった。タイは昨年より 865 人(13.9%)減少したが、昨年と変わらず国別では一番多く、タイとともにセールスコールや招聘などの誘客に力を入れてきた台湾や・香港からの宿泊客数は増加しており、インバウンド事業の取り組みの成果が表れていると考えられる。

なお、国・地域別の宿泊客数については、団体ツアー等の受け入れ可能な市内宿泊施設がある程度限られることから、宿泊施設の状況や団体旅行のコース設定などによって、前年との比較が大きく変動するケースが見られる。

単位(人泊)

	H29	H30	対前年比
韓国	2,151	2,195	102.0%
中国	1,664	1,273	76.5%
香港	2,428	2,432	100.2%
台湾	3,312	4,141	125.0%
アメリカ	224	378	168.8%
カナダ	34	84	247.1%
イギリス	60	69	115.0%
ドイツ	61	34	55.7%
フランス	72	181	251.4%
ロシア	50	26	52.0%
シンガポール	184	291	158.2%
タイ	6,238	5,373	86.1%
マレーシア	316	312	98.7%
インド	44	7	15.9%
オーストラリア	236	198	83.9%
インドネシア	219	439	200.5%
ベトナム	127	134	105.5%
フィリピン	95	189	198.9%
イタリア	28	17	60.7%
スペイン	30	30	100.0%
その他	255	786	308.2%
国籍不明	72	0	0.0%
推計値	3,785	4,402	116.0%
市 計(※2)	21,685	22,991	106.0%



※市計の数値には、調査未回答施設の推計値も含むため各地域の合計値とは異なる。

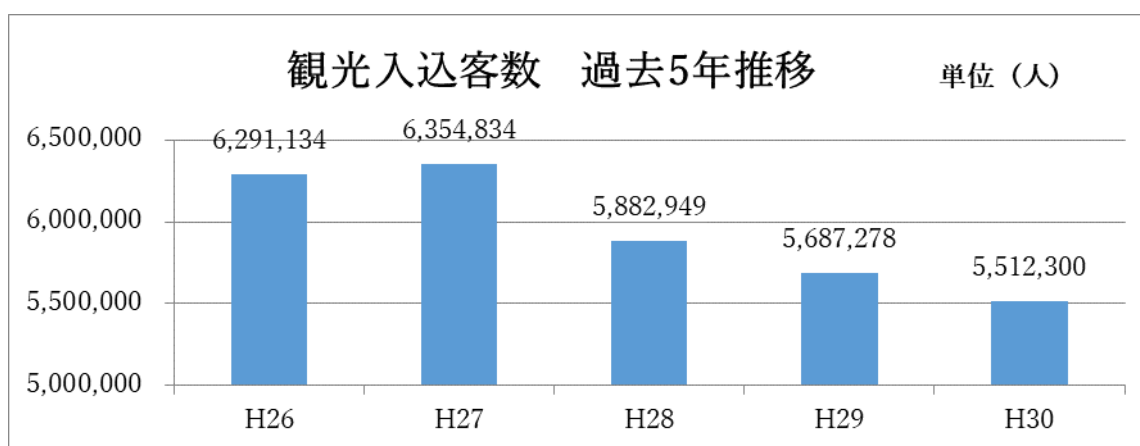
3. 観光入込客数について

平成 30 年 1 月から 12 月までの 1 年間で、市内の観光施設・地点、及び行・祭事、イベント（82 地点）を訪れた観光入込客数は 5,512,300 人で、前年に比べ 174,978 人（△3.1%）減少した。

（1）過去 5 年の推移

単位(人)

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
入込総数	6,291,134	6,354,834	5,882,949	5,687,278	5,512,300
対前年比	99.7%	101.0%	92.6%	96.7%	96.9%



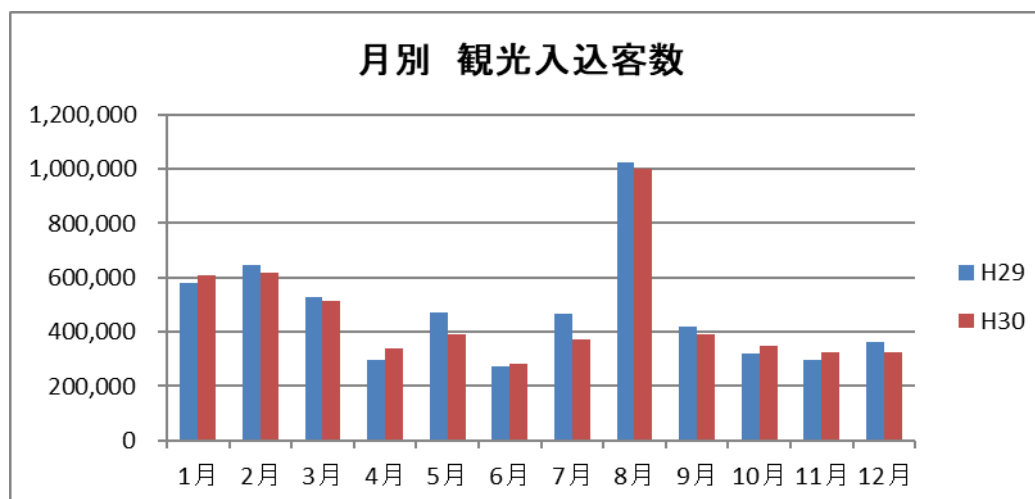
（2）月別の入込状況

月別の観光入込客数は郡上おどりや白鳥おどりの他納涼スポットの入込が増える 8 月が最も多く、次いでスキー場などのレクリエーションや温泉の入込客数が増える 2 月、1 月の順となった。

入込の少ない月は 6 月、11 月、12 月の順となった。4 月、11 月については例年も入込が少ない傾向で、12 月は雪の降り始めが遅くなり、スキー場のオープンが遅れた事が考えられる。7 月の入込が大きく下がっているのは豪雨による影響が考えられる。

単位(人)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
H29	580,969	648,091	525,651	298,114	469,627	274,405	465,671	1,026,160	417,836	319,239	297,020	364,495
H30	609,607	616,434	515,171	338,568	388,772	279,854	371,705	1,002,771	392,408	348,011	322,907	326,092



(3) 地域別の入込状況

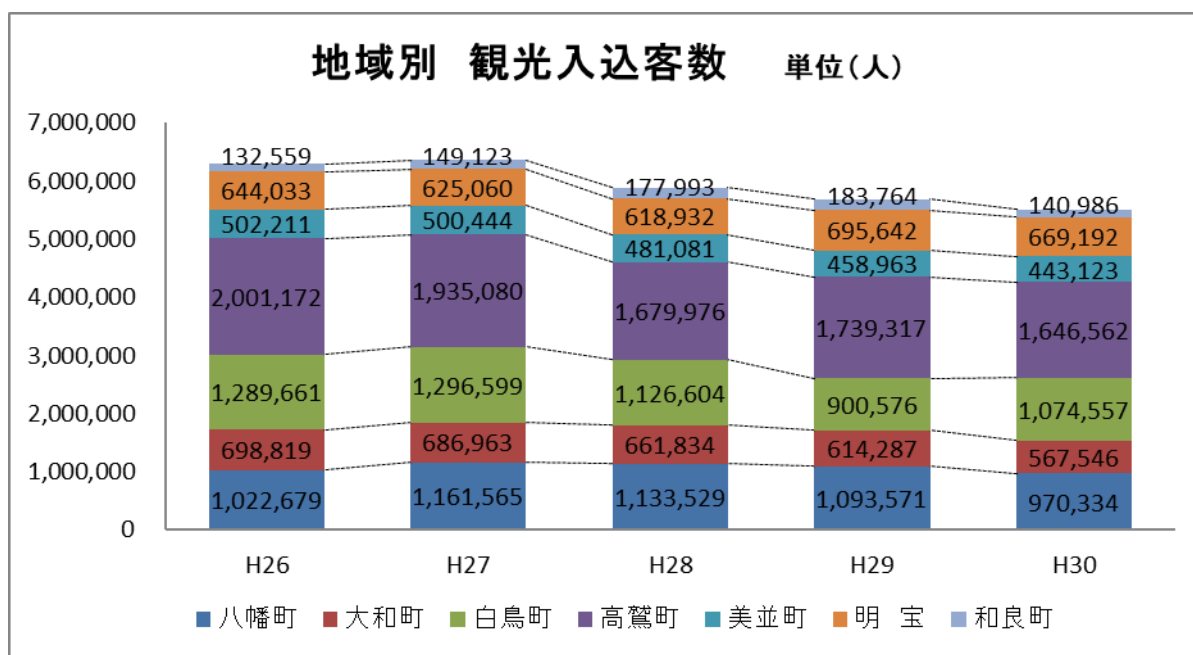
各地域別の入込客数の前年比は、清流長良川あゆパークがオープンした白鳥町で 19.3%増、その他の地域は軒並み前年より減となった。

特に 7 月豪雨や夏の猛暑、台風の影響があったと思われる八幡町で△11.3%、同じく 7 月豪雨により釣り客が減少した和良町で、△23.3%と落ち込みが大きくなった。

その他の地域も豪雨や台風などの災害の影響もあったと思われ、美並町で△3.2%、明宝で△3.8%、高鷲町で△5.3%、大和町△7.6%となった。

単位(人)

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
八幡町	1,022,679	1,161,565	1,133,529	1,093,571	970,334
大和町	698,819	686,963	661,834	614,287	567,546
白鳥町	1,289,661	1,296,599	1,126,604	900,576	1,074,557
高鷲町	2,001,172	1,935,080	1,679,976	1,739,317	1,646,562
美並町	502,211	500,444	481,081	458,963	443,123
明 宝	644,033	625,060	618,932	695,642	669,192
和良町	132,559	149,123	177,993	183,764	140,986
市 計	6,291,134	6,354,834	5,879,949	5,686,120	5,512,300



(4) 観光地点分類別の入込状況

観光入込客の地点分類別構成比の傾向は例年と大きく変わらず、道の駅などの「買物」、スキー場などの「スポーツ・レクリエーション」、「温泉」の順となった。

前年比では、清流長良川あゆパークがオープンした「スポーツ・レクリエーション」で 6.2%増加した。

対して、「買物」については構成比は高いものの「道の駅 白鳥」リニューアル工事の影響で入込客数は△3.4%となった。

単位(人)

	平成 29 年	平成 30 年	対前年比	構成比
自然	405,185	419,695	103.6%	7.6%
文化・歴史	397,685	337,215	84.8%	6.1%
産業観光	528,481	473,519	89.6%	8.6%
スポーツ・レクリエーション	1,433,076	1,521,329	106.2%	27.6%
温泉	794,045	744,268	93.7%	13.5%
買物	1,625,006	1,570,074	96.6%	28.5%
行・祭事	371,400	370,700	99.8%	6.7%
イベント	132,400	75,500	57.0%	1.4%
市 計	5,687,278	5,512,300	96.9%	100.0%

